

## 日本のロケット開発の父 糸川英夫



世界の国の中でも先端に行く日本の宇宙開発。その道を切り開いたのは、今年生誕100年をむかえる糸川英夫博士でした。糸川英夫博士は、どんな子どもだったのでしょうか。

2010年6月、日本の小惑星探査機「はやぶさ」が、小惑星イトカワのサンプル(試料)を地球に持ち帰り、大きな話題を呼びました。

はやぶさが着陸した小惑星イトカワは、実は日本人科学者の名前がつけられたものです。その由来になった科学者、糸川英夫博士こそ、日本のロケット開発の道を切り開いた人物なのです。

### 「大きくなったら エジソンようになる」

糸川英夫は、1912(明治45)年7月20日、東京・西麻布で生まれました。ちょうど100年前のことです。7人兄弟の2番目でした。

小学校に入る前から、英夫は、家の近くにある大きな公園で虫をつかまえたりして自然に親しんでいました。

英夫が4歳のとき、父につれられて飛行機のアクロバット飛行を見に行きました。飛行機は英夫の頭の上でうなりをあげ、直進したりちゅう返りをしたりと空中でのショーを見せました。このできごとは、英夫の心に深く残り、飛行機への思いを植えつけることになりました。

5歳のとき、英夫に科学への目を開かせるできごがありました。当時、家の中の明かりは、ガス灯が使われていましたが、ある夕方、英夫が外から帰ると、家のガス灯がガラスの球に変わっていました。父がスイッチをつけると、そのガラス球が明るくかやいたのです。それは電球でした。

電球の明るさにおどろいた英夫は、父に、「電球はだれが考え出したの?」

と聞きました。父は、電球は、アメリカのトーマス・エジソンという人が考え出したのだと教えてくれました。そして次の日、父は英夫のために、エジソンについて書かれた本を買ってきてくれました。英夫は、科学という世界に興味を持つとともに、「大きくなったらエジソンようになる」との思いをいだいたのです。

### 一生を飛行機の研究に ささげる決意をする

それから10年、中学3年生になった英夫は、科学実験の好きな少年に成長していました。そんなある日、英夫の一生を決めることになるニュースが伝わってきました。アメリカのリンドバーグ

糸川英夫(いとかわ ひでお)博士は、日本のロケット開発の父と呼ばれています。

日本宇宙少年団とJAXA宇宙教育センターが共同編集する「宇宙(そら)のとびら」(略して「ソラトビ」と呼んでいます)では、宇宙への扉を開いた偉人のものがたりを掲載しています。

第20号(2012年夏号)～第23号(2013年春号)では、糸川英夫博士のものがたりを掲載しています。

画像：宇宙のとびら

<http://edu.jaxa.jp/contents/soratobi/archive/index.htm>

「宇宙のとびら」は、3ヶ月に1回発行しています。毎号団員の皆さんのうちにお届けしています。

また、バックナンバーはJAXA宇宙教育センターのホームページに掲載されています。(1冊あたり約6MB~30MB) <http://edu.jaxa.jp/contents/soratobi/archive/index.html>

糸川英夫博士のものがたりは、20号から24号まで、計4回にわたって掲載しています。1回あたり2ページで読みやすいのでぜひ読んでみてください。

第1回 <http://edu.jaxa.jp/contents/soratobi/assets/ST020.pdf#page=20>

第2回 <http://edu.jaxa.jp/contents/soratobi/assets/ST021.pdf#page=20>

第3回 <http://edu.jaxa.jp/contents/soratobi/assets/ST022.pdf#page=20>

第4回 <http://edu.jaxa.jp/contents/soratobi/assets/ST023.pdf#page=20>

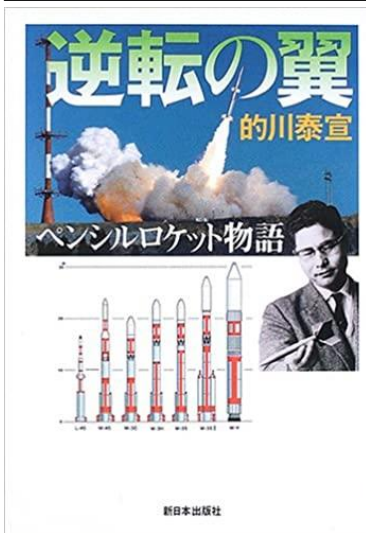


インターネットは、必ずうちの人が先生がいるときに使うようにしましょう。

画像：宇宙のとびら

<http://edu.jaxa.jp/contents/soratobi/archive/index.html>

もっと知りたい人のために



書名	逆転の翼 ペンシルロケット物語 ノンフィクション科学の扉
著者名	的川 泰宣 / 著
出版者	新日本出版社
出版年月	2005.11
ISBN	978-4-406-03225-4



画像：JAXA

ホームページ	日本の宇宙開発の父 糸川英夫 生誕100年記念サイト 宇宙科学研究所
URL	<a href="http://www.isas.jaxa.jp/j/special/2012/prof.itokawa/">http://www.isas.jaxa.jp/j/special/2012/prof.itokawa/</a>



ガガーリン、糸川英夫、フォン・ブラウン、コペルニクス、ガリレオ・ガリレイ、ケプラー、ニュートン、モンゴルフィエ兄弟、リリエントール、ライト兄弟、二宮忠八、ツィオルコフスキー、ゴダード、コロリョフ、アインシュタイン、ホーキング、ハーシェル、ハッブル、ガモフ、

「宇宙のとびら」では、第17号からこれまで、さまざまな偉人を紹介してきました。これらの先人に続き、これからの未来を作るのは皆さんです。



画像：宇宙のとびら